

企画展

幕末維新の刀剣

新々刀

再び響く槌の音

令和8年 1.31_{土曜日} → 4.12_{日曜日}

前期：1月31日(土)～3月8日(日) 後期：3月10日(火)～4月12日(日)
※一部資料の展示替を行うため、3月9日(月)は展示をご覧いただけません。

9時～17時 入館は16時30分まで
※期間中は休館日なし、桜まつり期間中は延長営業あり



三河武士のやかた家康館

企画展示室1(特別展示室)・企画展示室2

T444-0052 愛知県岡崎市康生町561-1 岡崎城公園内 TEL 0564-24-2204

[表紙]脇指 銘 源清磨/嘉永二年二月日(刀剣ワールド財团蔵)

企画展幕末維新の刀剣

新々刀

（再び響く槌の音）

新々刀とは、江戸時代の安永期（一七七二～八二）から明治九年（一八七六）の廢刀令までの約一〇〇年間に製作された日本刀をさします。元禄期（一六八八～一七〇四）以降、平和な世の中が続き、日本刀の需要はほとんど失われていました。それが安永頃になると、生活に困窮した者たちによる一揆や、尊王攘夷論の高まりなどによつて、再び日本刀の需要が増え始めました。それに応えるべく、刀工たちは日本刀製作に勤しみ、鍛錬場には槌の音が響きわたりました。これが「新々刀」時代の幕開けといえます。

本展では全国的に名が知られる刀工作家ら、地元の尾張・三河で製作された作品まで新々刀を一堂に展示します。幕末維新の動乱期において、再び隆盛を誇った日本刀の力強さに触れて、ただく機会になれば幸いです。

関連イベント

ギャラリートーク

担当学芸員が展示資料の解説を行います。

日 時 2月22日(日)、3月22日(日)
14:30～(45分程度)
場 所 当館エントランスホール集合
参加費 入館料のみ

新々刀鑑賞会

展示ケースを隔てることなく、新々刀をご覧いただけます。

日 時 2月15日(日)
①10:30～12:00
②14:00～15:30
場 所 城南亭(岡崎城公園内)
定 員 各回10名(先着)
申 込 1月10日㈯(9:00から電話にて受付)
(☎0564-24-2204)
参加費 500円(抹茶一服付)

クイズ!新々刀あれこれ

企画展を鑑賞してクイズに挑戦しよう!
全問正解で先着300名様にオリジナルポストカードを
プレゼントします。

日 時 企画展開催中
参加費 入館料のみ

入 館 料 大人(中学生以上)／400円

小人(5歳以上)・市民割(高校生以上)／200円

市内に住所を有する中学生以下の方又は65歳以上の方及び、身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、難傷病者手帳、被爆者健康手帳、Withカードのいずれかを所持する方は無料。
※岡崎市民の方は住所及び生年月日の確認できるもの(運転免許証及びマイナンバーカードなど)をご提示ください。

主 催 力 岡崎市／岡崎城公園指定管理者 一般社団法人岡崎パブリックサービス
日本美術刀剣保存協会名古屋支部／日本美術刀剣保存協会三河支部

交 通 案 内

- 名鉄「東岡崎駅」より徒歩15分
 - 愛知環状鉄道「中岡崎駅」より徒歩15分
 - 名鉄東岡崎駅よりバス「康生町方面行き」乗車→「康生町」下車→徒歩5分
 - JR岡崎駅よりバス「康生町方面行き」乗車→「康生町」下車→徒歩5分
- 車の場合 東名高速道路「岡崎IC」より名古屋方面へ3km(国道1号線沿い)

駐 車 場 案 内

《利用時間》24時間制
乗用車 [7:00～22:00]150円／30分 [22:00～翌日7:00]50円／30分 上限1500円
バ ス [7:00～22:00]2000円／1回 [22:00～翌日7:00]1000円／1回 上限3000円

※桜まつり期間中は料金を変更する場合がございます。



(右から)

刀 銘 伯耆守平朝臣正幸／寛政六寅八月(竜城美刀会蔵)

刀 銘 滋州住永貞同義重作／文久四年二月日

(開鑑治伝承館蔵、撮影:株式会社スタジオギフ 野田 正明)

脇指 銘 作陽幕下士細川正義(刻印)／天保八丁酉年二月日龍城臣吉達彌作(当館蔵)

短刀 銘 於江府清人作之／安政六年八月日(個人蔵、後期展示)

刀銘 国山宗兵衛宗次造之／天保八丁酉八月吉日二ツ崩截断切手山田五三郎(個人蔵)

